

KYOJO

TOM'S

Rd.1

5.10[sat] - 11[sun]

[place] 富士スピードウェイ(静岡県小山町)

[weather] sat 雨/曇り sun 曇り/晴れ

[spectators] 8,100人

sat 4,600人 sun 3,500人

2025年 KYOJO CUP 開幕!!

齋藤愛未は決勝で挽回し7位入賞。

バートン・ハナは9位で初戦を終える。

QUALIFYING/SPRINT

●天候: 雨 ●気温: 17℃ ●路面温度: 19℃

2025 KYOJO CUP が開幕。ウェットコンディションで行われた予選では、TOM'S から参戦する昨年チャンピオンの #1 齋藤愛未 (さいとう あいみ) は 12 番手、#37 バートン・ハナ がトップと 0.020 秒差の 2 番手につける躍進をみせた。

この順位で午後に行われたスプリント (予選レース) は、コンディションが回復し各車スリックタイヤを装着。ハナは後続の先行を許し、6 位でフィニッシュ。齋藤はトップ 5 圏内も見える位置まで挽回したが、終盤のスピンが響き、14 位で翌日のファイナルを迎える。



FINAL

●天候: 曇り ●気温: 19℃ ●路面温度: 20℃

スプリントでの結果順でグリッドに各車が整列し、ハナは 6 番手から、齋藤は他車のグリッド降格ペナルティもあり 13 番手からスタート。なかでも齋藤は 1 周目から相手の隙を突く走り、次々と前を走る車両を追い抜き、3 周目には 9 番手に浮上。その後も終盤までペースを落とすことなく力強い走りを披露し、7 位入賞を果たした。

一方のハナは、後続からの猛追を振り切ろうと懸命の走りをみせたが、最終的に 9 位でフィニッシュ。こちらも開幕戦でポイントを獲得した。

BigBoss W
TEAM TOM'S

Big Boss W TOM'S KYOJO with AIWIN KC -MG01

1

AIMI SAITO

Driver 齋藤 愛未

予選 12 位

スプリント 14 位

ファイナル 7 位

Rd.1	Qualifying	P12 / 1'55.468
	Sprint	P14 / 1'46.577
	Final	P7 / 1'46.284

BigBoss W
TEAM TOM'S

Big Boss W TOM'S KYOJO KC -MG01

37

HANA BURTON

Driver バートン ハナ

予選 2 位

スプリント 6 位

ファイナル 9 位

Rd.1	Qualifying	P2 / 1'54.290
	Sprint	P6 / 1'47.073
	Final	P9 / 1'46.807



1



ドライバー 高藤 愛未

ファイナルでは無理に追い抜いたというより、相手のミスをきっかけにしながら順位を上げることができました。タイヤもあまり痛めることなく最後まで走りきることができたので、そこは良い流れだったと思います。全体を振り返ると、予選とスプリントがすごくもったいなかったと思いますが、いくら悔やんでも過去に戻ることはできないので、これを1つの経験として次に活かすしかありません。同じ失敗は2度しないように努めていきたいです。



監督 三浦 愛

まずは無事に開幕大会を終えられたのは良かったです。今後はトップとの差をしっかり埋めていかないとはいけません。シーズンオフのテストではウエットコンディションが多かったなか、今回ドライコンディションでみんなと走ったことで課題が明確に見えました。ただ、決勝レースのペースが良かったというのは、本人も自信がついたと思います。順位だけみれば良いスタートを切れたとは言えませんが、次につながるレースになったと感じています。

37



ドライバー バートンハナ

予選ではタイヤの選択がうまくいったと思います。だからこそ、初めてのポールポジションが欲しかったというのが本音です。スプリントではブレーキのスタビリティが良くて、自分が思っていたようなクルマの動きにならなかったです。決勝も随所でバトルができて楽しかった部分もありますが、大きな課題が見つかった気がします。次戦に向けて、いろいろと改善していかなければいけないという事に尽きると思います。一生懸命、頑張ります。



監督 伊藤 大輔

予選に関してはウエットコンディションに対して、タイヤの選択が功を奏したという結果でした。今のパフォーマンスを考えると、結果的に順当なポジションになったのかなという感想です。スプリントとファイナルでは、他のクルマとバトルをしていくなかで、自分のスタイルで運転できない状況が続きました。まずは「今何が起きていて、どうしたら速く走れるのか？」という思考を持つことでステップアップできれば、次は良いレースができるのではないかと思います。

熊本トヨペット

カロしず
 カローラ静岡